

第 37 回櫻井健二郎氏記念賞



「第 37 回櫻井健二郎氏記念賞受賞者」

(左から今西 慎悟氏、古木 基裕氏、二村 孝治氏、山崎 剛氏)

■第 37 回櫻井健二郎氏記念賞受賞者および受賞題目■

第 37 回（2021 年度）櫻井健二郎氏記念賞は、受賞題目「スペクトル解析型フローサイトメーター開発と実用化」に対し、ソニー株式会社の古木 基裕氏、二村 孝治氏、今西 慎悟氏、山崎 剛氏の 4 名に授与されることが決定した。

櫻井健二郎氏記念賞は、当協会の理事であった故櫻井健二郎氏が光産業の振興に果たした功績を讃えると共に、光産業および技術の振興と啓発を図ることを目的として創設したもので、過去 36 回で 68 件、171 名の方が受賞している。

今年度の櫻井賞は、光産業および光技術の分野において先駆的役割を果たした 2011 年以降の業績を対象に、応募いただいた業績の中から厳正に選考された。

第 37 回 (2021 年度)

| 受賞者 | 所属 | 受賞題名と受賞理由 |
|---------------------------------|--|--|
| 古木 基裕 二村 孝治 今西 慎悟 山崎 剛 | ソニー株式会社 メディカルビジネスグループ メディカル設計部門 商品設計 2 部 統括部長 プロジェクトマネージャ シニアオプティカルエンジニア シニアハードウェアエンジニア | <p>「スペクトル解析型フローサイトメーター開発と実用化」</p> <p>受賞者らはブルーレイディスク装置で培った高速移動微小体の光検出技術をもとに、自ら開発した独立印加型 32ch 光電子増倍管と重み付最小二乗法アルゴリズムを組み合わせることで、世界初のスペクトル解析型フローサイトメーターを実現し、製品化した。この装置ではスペクトル アンミキシング方式を用いることで検出蛍光数を飛躍的に増加させ、また従来機の欠点であった蛍光強度補正再現性を解決した。その結果、世界最高性能の 7 レーザー励起による 44 色以上の蛍光検出の実現に成功した。この装置は極めて分解能が高いため国内外の先端医療研究機関で利用され、がん免疫・感染症研究に大きく貢献している。医薬分野での新たな光装置の実現は社会的貢献も大きい。</p> <p>自社の光ディスク装置の技術を全く新しい分野に展開し高性能な光装置を実現したことは、光の総合知の重要性を示したもので、今後の我が国の光産業の模範となる優れた業績である。</p> |

以上の表彰は、2022 年 2 月 16 日に開催された 2021 年度光産業技術シンポジウムの終了後に行われた。櫻井健二郎氏記念賞委員会委員長、荒川 泰彦氏（東京大学名誉教授）による選考経過報告の後、賞状、メダル、副賞が各受賞者に手渡され、引き続き受賞者の古木 基裕氏より謝辞が述べられ、表彰式を終了した。